



太陽クラブ  
なくそう 待機児童

安田 高玄



Q 子育てをしながら働きたい方も多くおられるが、子どもを預かってもらえず働けない現状がある。本市における待機児童対策について、

①本市の待機児童数は、  
②待機児童が解消できない要因は、  
③今後の対策は、

A ①令和2年8月1日現在で69人です。  
②現在の69人については、全施設の受け入れ可能な人数でいうと入所は可能ですが、希望される園に偏りがあることや保育士が不足しているため待機児童が出ています。特に待機児童の大半を占める3歳未満児については、年々、入所希望者が増加していることが要因と考えられます。

職フェアの開催などにより人材確保を進めてきました。今後においても、3歳未満児の入所希望者が増加していることから、小規模保育事業などの整備を推進するとともに、令和3年度からは、幼稚園における預かり保育を拡充することで引き続き待機児童解消に努めていきます。



③待機児童解消には、施設および人材確保が必要であり、平成25年度からこれまで各地区において施設整備を進め930人の定員の増加を図るとともに、就



太陽クラブ  
自治会単位では申請できない？

戸嶋 幸司



Q 一般財団法人自治総合センターが助成する「一般コミュニティ助成事業」について、本市ではなぜ自治会単位での申請ができないのか。

A この助成金の採択件数は年間数件であり、市町合併により380を超える自治会に助成の恩恵を受けていただくことが難しいと判断し、各地区の自治会連合会やまちづくり協議会に助成することを要綱に定めました。

要綱制定から9年が経ち、14地区でひと通り採択されたことも踏まえ、今後は自治会単位での申請ができるよう検討していきたいと考えています。

Q 垣見隧道の通行止めにより、隧道に最も近い垣見踏切では迂回路の最優先経路になるため渋滞が予想されるが現状は、  
また、自治会内を通り抜けて垣見踏切に出る車が増えることが予想されるが対策は、

A 現在、大きな渋滞は発生し



令和4年2月まで通行止め予定の垣見隧道



太陽クラブ  
感染症に対する業務継続計画は

辻 英幸



Q 県内の病院や介護施設で集団感染の発生が発表され、また4月には大津市役所で集団感染により業務縮小を余儀なくされた。本市には震災時における業務継続計画（BCP）はあるが、新型コロナウイルスの集団感染発生時のBCPも必要ではないか。

Q ゴミ処理・火葬などの広域行政組合での新型コロナウイルス感染症対策は万全か。  
A 各組合において、マスク着用・手洗い励行・換気の実施などそれぞれにルールを定めて感染症対策を講じておられます。また、職員に罹患者などが発生した場合でも業務が途切れることとの無いよう勤務体制や執務室の分散を検討されています。

A 本市では新型インフルエンザが世界的に流行した平成21年に直ちにBCPを作成し発生時に備えてきました。今年4月の緊急事態宣言発令時には市役所の全部局を対象として業務継続について調査し、在宅勤務による勤務の分散化、職員の密接密集を回避する取り組みを行い緊急時の態勢を整えました。今後集団感染が発生した際には震災時のBCPも活用しながら業務継続に当たるようにしていきます。

Q 市民のライフラインの維持は最優先の業務であるが、消防・



公明党  
お済みですか？予防接種

竹内 典子



Q 予防接種について、  
①コロナ禍におけるインフルエンザワクチンについて、65歳以上の高齢者、妊婦、子どもへの優先的な接種に向けた取り組みは、また、接種費用の助成については、  
②子宮頸がん予防ワクチンについての取り組みは、

A ①この冬は、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行を最大限に警戒すべきことから、医師会の協力を得ながら接種率向上に向けて啓発をしていきます。市ホームページで啓発するとともに、妊娠届の提出時、妊婦向けマスクの配布時、乳幼児健診時や、園・小学校を通じて接種を呼びかけます。接種費用の助成については、県が助成事業を検討しているの

で、動向を注視していきます。  
②子宮頸がんワクチンについては、健康ガイドブックなどで情報提供し、本年度は対象となる年齢の女子の保護者に啓発リー

フレットの配付を予定しています。

Q ひきこもりやダブルケアなどの相談を丸ごと受け止める「断らない相談支援」を中心とした包括的支援体制の構築は、  
A 法改正による国からの支援を活用し、既存の相談支援などの取り組みを生かしつつ、参加支援や地域づくりに向けた支援が一体的に実施できるよう、さらに充実した体制を構築します。

助成対象期間		
令和2年10月1日から令和3年2月28日まで		
対象者等について		
助成対象者	助成金額 (1回当たり)	備考
①65歳以上の高齢者	全額助成 (接種費用無料)	一人1回に限る。
②満60歳から64歳の人で、かかりつけ医による「接種者該当委員会」がある人 (心臓や腎臓、呼吸器に重い疾患がある人や免疫機能の低下している人)	全額助成 (接種費用無料)	一人1回に限る。
③妊婦	2,000円助成	一人1回に限る。
④生後6ヶ月から中学3年生までの子ども	2,000円助成	13歳未満の人は2回、 13歳以上の人は1回に限る。

インフルエンザ予防接種の助成一覧